

# 第3学年国語科 学習指導案

平成28年6月15日(水) 第5校時  
高知市立愛宕中学校3年2組 生徒数35名  
指導者 西口 沙映

## 1 単元構想図

単元名  
「想いのリレー」に加わろう(光村図書『国語3』)(全3時間)

**【単元でつきたい力】**  
・文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つ力。  
・目的に応じて本や文章を読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする力。  
・自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、説得力のある話をする力。

**第1時** ◆**学習の流れ**

○本文を読み、現代メディアの特徴と注意すべき点について考える。

文章を読んで、現代のメディアについて考え、自分の意見を持たせる。また、メディアの歴史について考えさせる。

**第2時(本時)**

○ソーシャルメディアとマスメディアの違いを比較する。

○ソーシャルメディアの特徴と注意点についてまとめる。「想い」を伝えるために必要なことについて自分の考えを書く。

筆者の投げかけに対して、自分と向き合い、自分の考えをまとめることができる。

**第3時**

○「情報発信」の意義と注意点を理解し、情報の発信者について話し合う。

○みんなで情報の発信者、ジャーナリストになるという課題を持ち、自分たちができる情報発信について考える。

情報発信のより良い手段について考え、積極的に伝え合ったり、発表することができる。  
メディアの特性を生かしながら、積極的に活用しようとしている。

◆**意識の流れ**

**【生徒の実態】**  
メディアの発達により、コミュニケーションの在り方が変わってきた。本クラスの生徒もメールやネットでのトラブルに巻き込まれ嫌な思いをした生徒もいる。説明的な文章を読み、自分の考えを持つことが苦手な生徒も多いが、身近な問題に触れることで自分の考えを広げたり深めたりする力を身に付けさせたい。

・ソーシャルメディアとはなんだろう？  
・インターネットは便利だなあ。  
・メディアって時代によってかわるんだなあ。自分たちは便利な時代に生きているんだなあ。

・それぞれのメディアの善し悪しがあるんだなあ。  
・「想い」を伝えるために、どんなことをしなければいけないのかなあ？

・自分たちも情報の発信者になれるんだなあ。情報を伝えるためには、どんなことは必要なのか。友だちの意見を聞くと、考えも広がるなあ。

## 2 単元について

### (1) 単元観

生徒は日々の生活の中で様々なメディアに触れている。メディアの発達により、コミュニケーションの在り方も変わってきている。友だちとのトラブルも、ネット上でのトラブル、また、夜遅くまでゲームをしたり、ネット上でのコミュニケーションに夢中になるあまり、生活リズムが乱れている実態もある。

本単元は、人と人とのつながりが基底であるコミュニケーションがメディアの発達によって即時性や利便性を得た代わりに、相手への思いやりや自己への振り返りをする時間や余裕を失ったといえる現代のコミュニケーションの在り方について考えさせることができる教材である。生まれた時からネット環境が整備され、小さいときから自然に使いこなしているソーシャルメディア。誰でも気軽に情報発信をすることができる便利なツールを使うことの意味を考えさせたい。

言語活動例C(2)イ「論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読むこと。」を位置付け、教科書教材を使って読む学習の際に身に付けたことを、実際の生活の中でより社会にしていこうとしたい。また、第3次では、言語活動A(2)イ「社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合うこと。」を位置づけ、話の内容を相手に理解させるために論理的に話す力を育てたい。そのためには、自分の考えを相手に受け入れてもらえるよう分かりやすく伝えることや、根拠を明確にすることも意識させたい。

そして、ここで学習したことを日常生活にも生かし、パソコンや携帯電話の向こう側にも人がいる、想いを伝えるために、表現方法を学び、多様な意見に触れ、考えをぶつけ合い、そして自分の考えを言葉にしていくという、子どもたちが国語科で身につけたことを他の場面でも役に立つということを実感させたい。

### (2) 生徒観

昨年度の授業評価アンケートでは、国語への関心・意欲・態度は3.82%（満点＝4）と高く、日々の授業にも意欲的に取り組む生徒が多い。しかし平成27年度の高知県版学力調査「読むこと」の領域では、高知県平均を3.0ポイント下回っており、文章題の読み取りに大きな課題がある。特に、「文章の構成や展開を捉えること」が苦手な傾向にあり、これは、説明的な文章を読む際に、内容理解が中心となり、構成や論理の展開に着目して読むことへの意識が弱いためであると考えられる。そのことから、筆者の意見に対する自分の考えを書くことへの苦手意識も強い。

本単元は、生徒の身近にあるソーシャルメディアについて三部構成で書かれており、ソーシャルメディアの特徴と注意点を丁寧に説明していることから、説明的な文章を読むことが苦手な生徒にも取りかかりやすい内容であると思う。直前の「月の起源を探る」では、説明の順序、図表や語句の使い方などに注意して科学的な文章を読む学習を行ってきた。今回は、ソーシャルメディアのもつ社会への影響力に着目して読ませるとともに、パソコンや携帯電話の向こうにも人がいるという本教材の言葉を、改めて問い直し、自分自身の日常になぞらえて考えさせたい。

### (3) 指導観

生まれた時からネット環境が整備され、携帯電話やパソコンでメールやソーシャルメディアを利用している生徒たち。しかし、生徒たちにはソーシャルメディアという概念はなく、コミュニケーションのツールという意識もない現状がある。一方で、携帯電話（ネット上）でのトラブルも多く、技術科の授業を中心とし、情報モラルについても学習を重ねてきた。

私たちは、いつでも気軽に情報を発信できる環境の中で生活をしている。本教材では、東日本大震災のとき、中学生が携帯電話でニュースを動画サイトに投稿し続け、震災の様子を多くの人に伝えたという情報ツールを社会のために使った事例が紹介されている。生徒が日常的に行っているメディア活動を振り返り、自分の発信する情報の責任は自分自身にあることや、見えない先の相手を思いやること、そして、インターネットの中とはいえ、人と人とのコミュニケーションが基本であるということを考えさせたい。第3次では、クラスでできる情報発信の場を設けている。そこでは、身近な例をあげながら、情報発信のもつ意味を考えさせたい。

### 3 単元の目標

- ・文章を読んで、現代のメディアについて考え、自分の意見をもつことができる。
- ・情報発信の意義と注意点を読み取り、自分の問題として捉えることができる。

### 4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す聞く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・課題意識をもって文章を読み、現代のメディアについて考えようとしている。		・文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。 【(3) エ】 ・多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめている。 【(3) オ】	・文の中の成分の順序や照応、文の構成などについて考えて読んでいる。 【(3) イ(ウ)】
・情報発信のよりよい手段について考え、積極的に伝え合おうとしている。	・相手を説得するために、根拠を明確にしたり、聞き手の理解を助ける工夫をしたりしている。 【(3) イ】		

## 5 指導と評価の計画（全3時間）

時	学習内容	評 価					評価方法
		関	話 聞	読	言	評価規準	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全文を読み、現代のメディアの特徴と注意すべき点について考える。</li> <li>・メディアの歴史について本文から読み取ったについてことをまとめる。</li> </ul>	○		◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。</li> <li>【読（3）エ】</li> <li>・文の中の成分の順序や照応、文の構成などについて考えて読んでいる。</li> <li>【言（3）イ（ウ）】</li> </ul>	ワークシート 観察
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルメディアの特徴について、マスメディアと比較させながら考える。</li> <li>・「想いを伝える」ために学ばなければいけないことを考える。</li> </ul> （本時）			◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。</li> <li>【読（3）エ】</li> <li>・文の中の成分の順序や照応、文の構成などについて考えて読んでいる。</li> <li>【言（3）イ（ウ）】</li> </ul>	ワークシート 観察
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報発信」の意義と注意点を理解し、クラスでできる情報発信について話し合う。</li> </ul>	○	◎			<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を説得するために、根拠を明確にしたり、聞き手の理解を助ける工夫をしたりしている。</li> <li>【話聞（3）イ】</li> <li>・情報発信のよりよい手段について考え、積極的に伝え合おうとしている。</li> <li>【関】</li> </ul>	ワークシート 観察

## 6 本時の展開

本時の目標	自分の経験を踏まえながら、ソーシャルメディアについて自分の考えをまとめよう。		
観点別評価規準	文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。【読(3)エ】		
準備物	ワークシート・掲示物・教科書・マジック・プレゼンボード		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
1 前時の復習をし、本時の目標を確認する。	・前時までのワークシートを振り返り、「想い」やメディアについて振り返る		
<b>【学習課題】</b> 自分の経験を踏まえながら、ソーシャルメディアについて自分の考えをまとめよう。			
2 ソーシャルメディアとマスメディアの違いについて考え、表に記入する。 (比較することで特徴をより理解させる。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人でワークシートにまとめさせる。</li> <li>・個人で考えたことを基に、グループで意見を交流させる。自分の意見を述べる際には、根拠を示すように指導する。</li> </ul>		
3 現代はソーシャルメディアが主流になりつつあることを知り、ソーシャルメディアの良さ、課題について表にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルメディアの良さ、課題について、本文から読み取ったことを表にまとめさせる。その際には、根拠となる部分を明確に示すよう指導する。</li> </ul>		
4 ソーシャルメディアの特徴から、自分たちが活用する際に注意しなければいけないことについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み取ったことを踏まえて、自分の生活に置き換えて考えるよう指導する。</li> <li>・便利なものは必ずしも良い点ばかりではないことに気づき、自分自身の生活に置き換えて自分の考えを深めていくよう指導する。</li> <li>・自分の意見を書いた後、さらに意見が深まるよう班で交流させる。意見交流のさいには、根拠を明確に示すよう指導する。</li> </ul>		
5 自己評価表に記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。</li> </ul>	ワークシート 観察 発言
6 次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時、記録の文章の特徴をまとめることを伝える。また、記録文を書く際に示す図表について考えておくことを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。</li> </ul>	【読(3)エ】